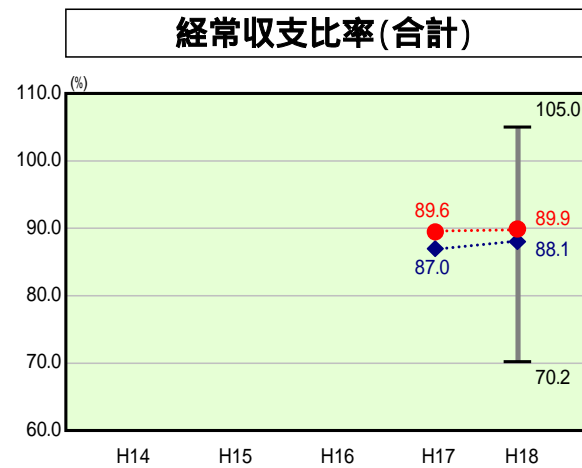


歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

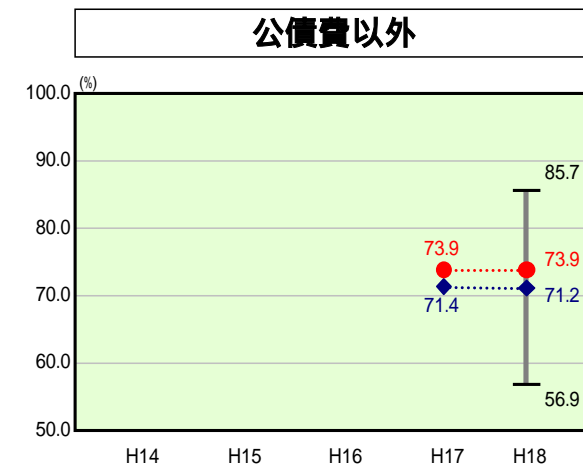
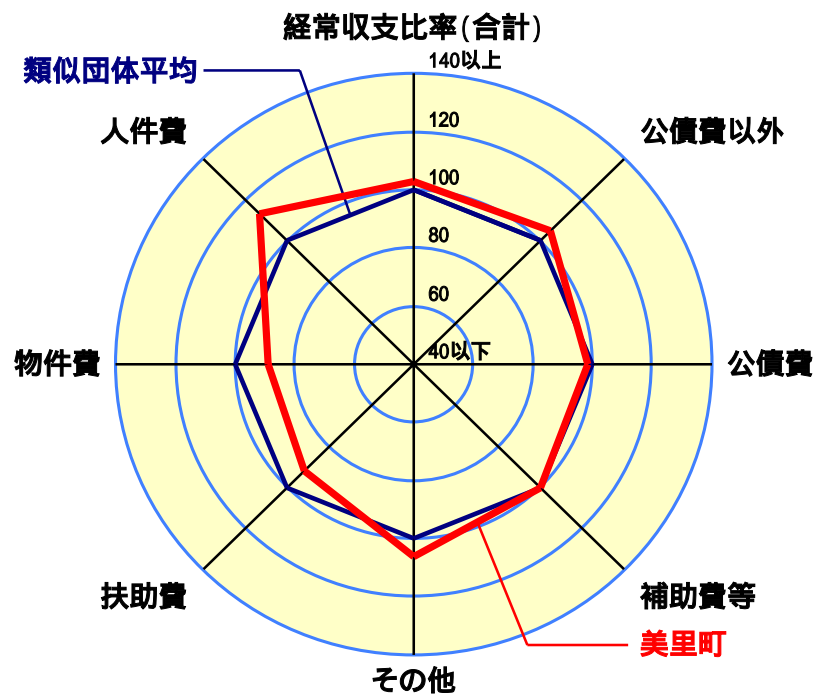
経常収支比率の分析



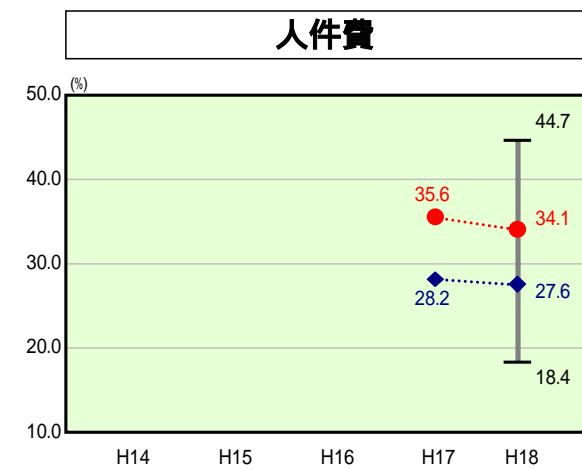
当該団体値 ●
類似団体内平均値 ◆
類似団体内最大値 ⊥
類似団体内最小値 ⊥

人口	26,458 人(H19.3.31現在)
面積	75.06 km ²
歳入総額	10,499,255 千円
歳出総額	10,270,244 千円
実質収支	204,649 千円

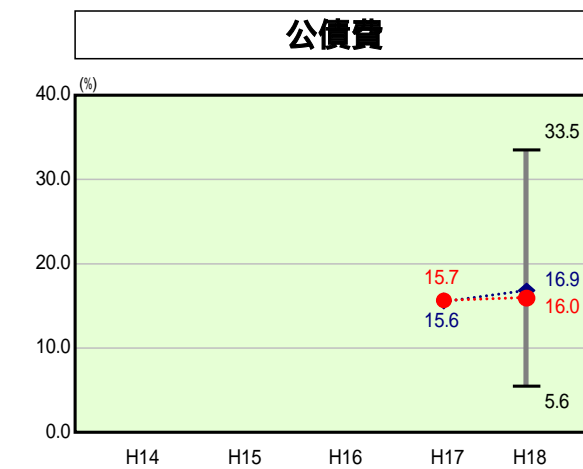
H18類似団体内順位 84/153
全国市町村平均 90.3
宮城県市町村平均 92.3



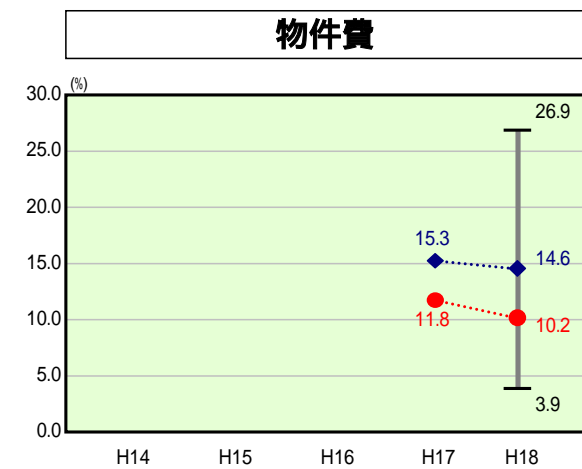
H18類似団体内順位 96/153
全国市町村平均 70.5
宮城県市町村平均 70.7



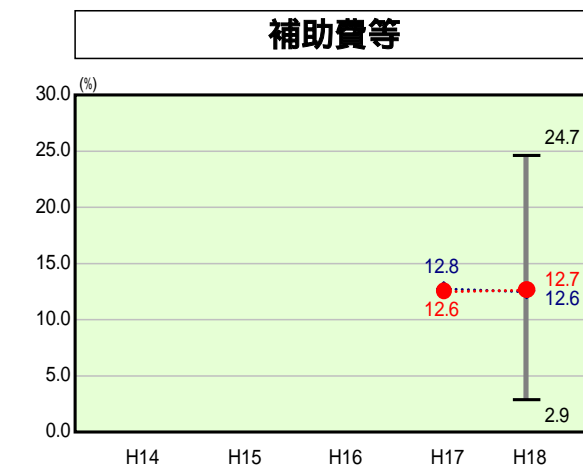
H18類似団体内順位 139/153
全国市町村平均 28.2
宮城県市町村平均 28.7



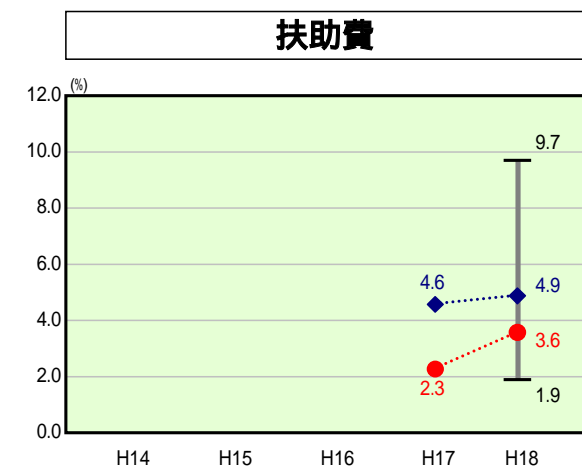
H18類似団体内順位 63/153
全国市町村平均 19.8
宮城県市町村平均 21.6



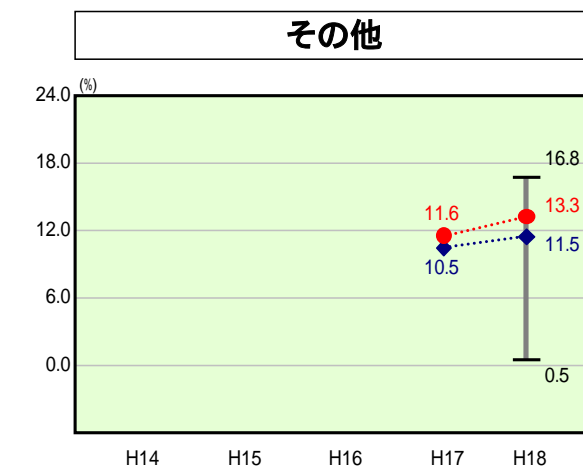
H18類似団体内順位 25/153
全国市町村平均 12.9
宮城県市町村平均 12.7



H18類似団体内順位 69/153
全国市町村平均 10.2
宮城県市町村平均 11.3



H18類似団体内順位 37/153
全国市町村平均 8.6
宮城県市町村平均 6.5



H18類似団体内順位 116/153
全国市町村平均 10.6
宮城県市町村平均 11.5

- 1 本レーダーチャートは、当該団体と類似団体平均値より算出した偏差値をもとにチャート化したものである。(偏差値は平均を100としている。)
- 2 当該団体の八角形が平均値の八角形より内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示している。
- 3 類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

分析欄
別紙参照

分析欄

人件費

・人口一人当たりの人件費は85,414円であり、類似団体に比べ22,595円高くなっている。主として幼児・児童教育や社会教育等に重点をおいた政策を行ってきたことが要因となっており、特に教育費に対する比率が大きくなっている。

・また、公営事業会計への人件費相当の繰出金等を含めると、類似団体に比べ29,432円高くなる。普通会計だけでなく公営事業会計も含め、集中改革プランに掲げた項目の取り組みを進め、人件費総額の抑制を進めるとともに各種教育施設の統廃合及び民間委託を検討していく。

「公営事業会計」は国民健康保険、老人保険、介護保険、下水道事業、水道事業及び病院事業等に係る特別会計を総称したものである。

物件費

・人口一人当たりの物件費は38,676円であり、類似団体に比べ4,253円低くなっている。今まで個別に発注したものを一括発注する等の物件費の合理化(主として委託料)を進めたため、総額を抑えることができたものと思われる。

・一方、賃金及び人件費が高くなっており、人件費から物件費(委託料)へのシフトを進めるため、集中改革プランに掲げた各業務における民間委託を検討していく。

扶助費

・人口一人当たりの扶助費は19,945円であり、類似団体に比べ6,728円低くなっている。しかし、児童手当拡充等に伴い前年に比べ児童福祉に係る扶助費が対前年25%増となっており、今後も少子高齢化対策に伴う扶助費の増が見込まれることから、各扶助事業の見直しを定期的に行い、扶助費が急増しないように努める。

公債費

・人口一人当たりの公債費は41,171円であり、類似団体に比べ4,085円低くなっている。

・一方、公営企業会計への公債費相当の繰出金が人口一人当たり23,315円で、類似団体よりも13,415円高くなっており、公営企業会計の健全化が課題となっている。普通会計については財政健全化計画を踏まえながら、プライマリーバランスの黒字化に努め、公営企業会計については経営健全化計画を踏まえ、普通会計からの繰入金の抑制に努めていく。

・なお、公営企業会計を含めた町全体の公債費のピークは平成21年度である。

「公営企業会計」は公営事業会計のうち、下水道事業、水道事業及び病院事業等に係る企業会計を総称したものである。

補助費等

・経常収支比率における補助費等の値は、類似団体とほぼ同じである。しかし、人口一人当たりの補助費等は46,325円で、類似団体よりも12,753円高くなっている。これは、一部事務組合等への負担金が主な要因となっているものであるが、経常的な補助費等の全体額は対前年9%減となっている。今後とも、負担金・補助金等の見直しを定期的に行い、総額の抑制に努める。

その他

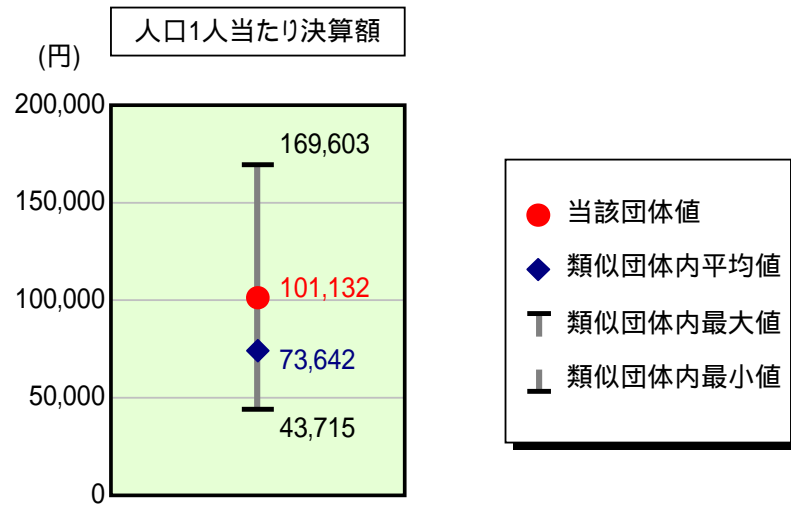
・人口一人当たりの繰出金は56,517円であり、類似団体に比べ22,326円高くなっている。老人保険及び下水道事業の特別会計への繰出金が主な要因となっており、共に類似団体のおよそ2倍の金額となっている。老人保険については、平成20年度から後期高齢者医療制度が開始されるため、その動向を注視しながら繰出金の抑制に努めていく。また、下水道事業については、公営企業経営健全化計画を踏まえながら、健全化に努めていく。

普通建設事業費

・人口一人当たりの普通建設事業費は62,131円であり、類似団体に比べ20,372円高くなっている。これは、市町村合併に伴う事業(合併特例事業債の対象事業費)が要因となっており、普通建設事業費のおよそ36%を占める。今後は財政健全化計画を踏まえ、プライマリーバランスの黒字化及び普通建設事業費総額の抑制に努めていく。

歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



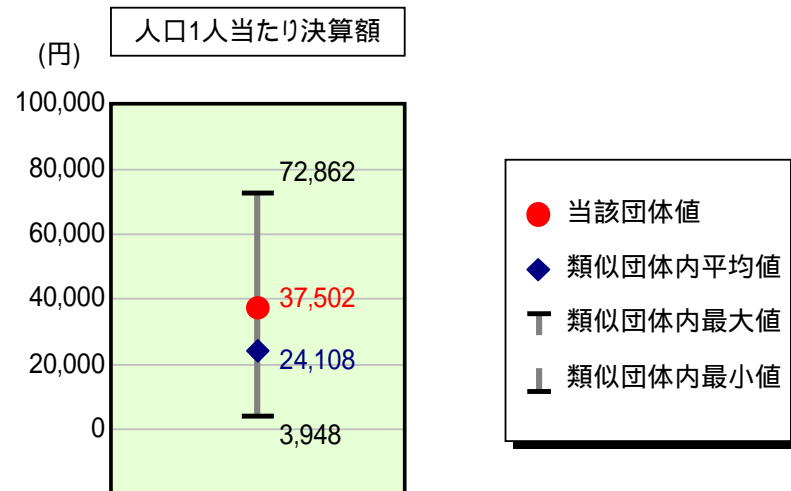
人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
人件費	2,259,885	85,414	62,819	36.0
賃金(物件費)	115,396	4,361	4,087	6.7
一部事務組合負担金(補助費等)	307,929	11,638	7,782	49.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	87,177	3,295	155	2,025.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	0	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	78,874	2,981	3,100	3.8
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	27,035	1,022	1,338	23.6
退職金	200,548	7,580	5,638	34.4
合計	2,675,748	101,132	73,642	37.3

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	9.64	7.08	2.56
ラスパイレス指数	93.5	95.6	2.1

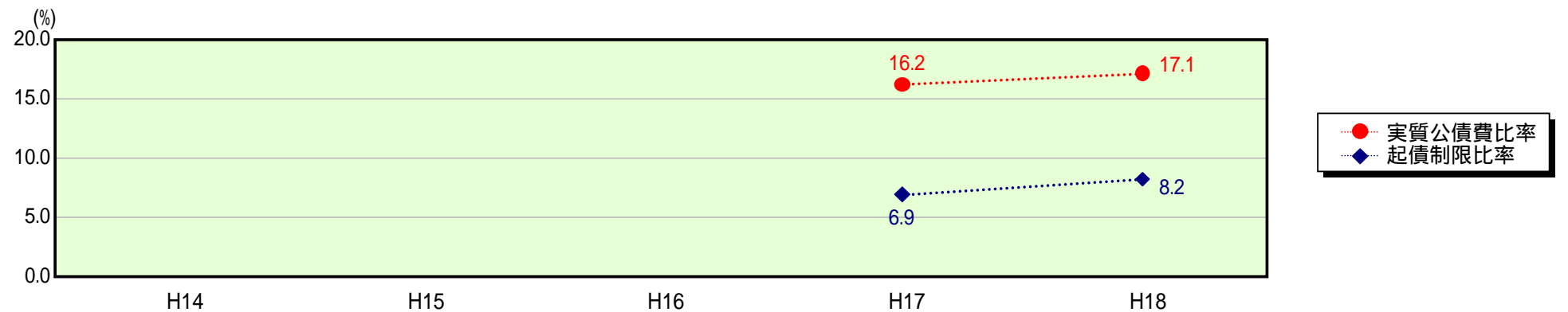
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

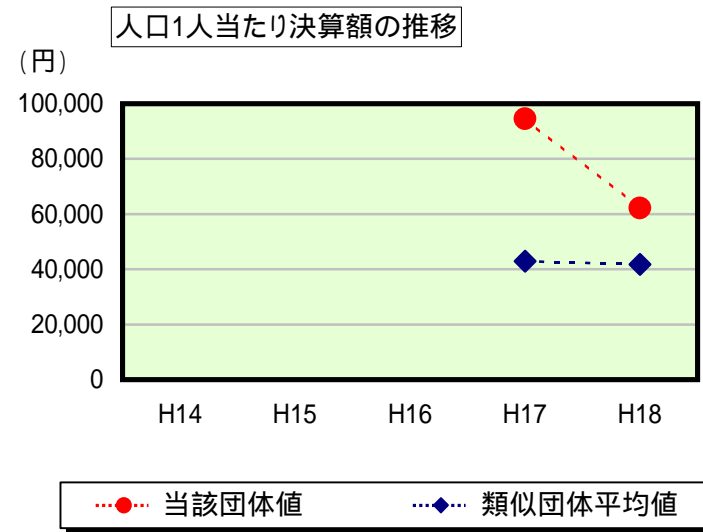
項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		対比(%)
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	
公債費充当一般財源等額 (繰上償還額及び満期一括償還地方債の元金に係る分を除く。)	1,041,267	39,355	35,094	12.1
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)等	-	-	6	-
公営企業債の償還の財源に充てたと認められる繰入金	616,881	23,315	9,900	135.5
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる補助金又は負担金に充当する一般財源等額	76,867	2,905	3,982	27.0
債務負担行為に基づく支出のうち公債費に準ずるものに充当する一般財源等額	107,234	4,053	1,698	138.7
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	11	-
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	850,011	32,127	26,583	20.9
合計	992,238	37,502	24,108	55.6

参考 実質公債費比率及び起債制限比率の推移



歳出比較分析表(平成18年度普通会計決算)

普通建設事業費の分析



普通建設事業費

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A) - (B)
H14	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H15	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H16	-	-	-	-	-	-
うち単独分	-	-	-	-	-	-
H17	2,527,658	94,552	-	42,971	-	-
うち単独分	1,229,512	45,992	-	27,006	-	-
H18	1,643,856	62,131	34.3	41,759	2.8	31.5
うち単独分	621,638	23,495	48.9	25,833	4.3	44.6
過去5年間平均	2,085,757	78,342	34.3	42,365	2.8	31.5
うち単独分	925,575	34,744	48.9	26,420	4.3	44.6